

大子中学校だより

ポータルサイト<https://www.daigo.ed.jp/page/dir000009.html>

夢に向かって挑戦し、手応えを実感する

文責 校長 長山 芳子

大子町立大子中学校

久慈郡大子町池田1648

TEL 72-0158, FAX 72-0461

受験はチーム戦

3年生の県立高校入試まで1ヶ月、今年度終了まで2ヶ月足らずになりました。冬休みに、関西の塾講師、木下晴弘さんの記事を読みました。その記事は、「高校の合格率と集団内の人間関係にはある関係があった!」というものでした。圧倒的な合格率のAと平均的なB。このABの違いは何だったのかというと、Bは仲良しグループだったのに対して、Aは見事な「チーム」だったというのです。Aは、ただ仲が良いだけでなく、「自分の苦手や心配なことには助けを求められ、相手の苦手や心配事には、自分がしてほしいような行動をする。」というのです。このようにお互いにサポートし合って全員で目標を達成しようとする文化ができたとき、つまり「チーム」となったとき、人はものすごい力を発揮します。

先日の全校集会では、「自分の所属している学年・学級・班・部活動はチームになっているか、そしてグループをチームにし、機能させていくのはみなさん一人一人です」と伝えました。進級進学まであと2ヶ月。3年生は受験に向かって、進路実現に向けて励まし合い、1・2年生は、何を言っても受け止めてもらえる安心できる、そして、一人一人の強みを発揮できるチームづくりを大切にしていきたいと思います。



地域の皆さんに見守られて

先日、登校途中に腹痛を訴えた本校生徒に対して、地域の方が、「うちのトイレを使っているよ。気分がよくなるまで温まっていきなさい。」と声をかけてくださいました。そのおかげで体調回復した生徒は、無事登校できました。放課後に、その休ませていただいた家を訪ねました。その家の方が「お話ができて嬉しかった。また、体調を崩すようなことがあったらいつでもいつてください。」と話してくださいました。また、ある方は、「新聞に載った生徒の作文に感動しました。これからも元気に頑張ってください。」とお花を届けてくださいました。生徒の体調を気遣いサポートをしてくださったり、頑張りを応援してくださったりする地域の方の温かさを感じました。生徒たちには、日頃見守ってくださる地域のみなさんに明るいあいさつで交流しようと投げかけています。ご家庭でも、生徒への声かけをお願いいたします。



「戮力協心～雪と溶ける私達の青春」

～1年生宿泊学習(1/21～1/23)に行ってきました～

「戮力協心」のテーマのもと、61名全員が白銀の世界で仲間と共に過ごした3日間、素晴らしい体験ができました。

「同じ釜の飯を食おう」でつらさも喜びも共に味わい、励まし合った仲間は、これからの生活の中でも、お互いに助け合い、励まし合って活動していくことでしょう。1年生のこれからの生活に期待しています。生徒の感想については次号でお知らせします。



1月21日出発の朝

表彰、おめでとうございます!

◆第58回茨城県アンサンブルコンテスト打楽器三重奏

銀賞 大子中学校 ○○○○○ ○○○○ ○○ ○

◆第26回ソロコンテストいばらき県央地区大会

優良賞 ○○○○ ○○○○ ○○○○○ ○○○○ ○○○○

◆常陸大宮市近郊中学校バスケットボール大会

女子の部 敢闘賞 大子中学校・生瀬中学校合同チーム

優秀選手賞 2年 ○○○○

